

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調書番号 960	
事務事業名称			国民健康保険料徴収事務								
担当部署(R7年度機構)			部：市民生活部		課：保険納付課		区分	義務的事业			
基本項目	総合計画	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち					細区分	非選択的区分		
		施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち					性質	税務事務		
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 ○	R7年度	R8年度	R9年度		
	事業期間		事業開始： 不明 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)								
	根拠法令等		国民健康保険法、枚方市国民健康保険条例、枚方市国民健康保険条例施行規則、地方税法、国税徴収法等								
	関係附属機関等		該当なし								
	関係補助金等		該当なし 補助金性質： —								
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		保険料を適正に徴収することで、公平性が確保され、保健事業が円滑に実施できている。								
	対象者(受益者)		枚方市国民健康保険料の納付義務者								
	現状・課題		普通徴収が大部分を占める国民健康保険料は、後期高齢者医療保険料・介護保険料と比べ収納率が低い。現年度収納率は令和5年度が95.62%で、徴収強化に向けての対策が必要である。								
	事業の概要		国民健康保険料の徴収に係る事務を執行する。 (1)保険料の収納に関する事務(入金処理及び納付済証明の発行等) (2)未納保険料に関する督促・催告発送処理事務 (3)未納保険料に関する滞納処分及び納付相談事務 (4)保険料の不能欠損処理事務 (5)保険料過誤納金の還付・充当に関する事務 (6)保険料の口座振替に関する事務								
年間の主な事務		・6月保険料決定通知書発送に伴う納付相談対応 ・未納保険料への督促状送付(毎月)、または催告書送付(5月・9月・11月・3月) ・保険料納付済額通知書の発送(1月)									

2. 事務事業への投入コスト(インプット)									
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績			
	正職員		7.57人	—	—	—			
	再任用		0.96人	—	—	—			
	任期付職員		0.80人	—	—	—			
	会計年度任用職員		5.71人	—	—	—			
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—			
	附属機関委員		0.00人	—	—	—			
決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	正職員、再任用、任期付職員	67,318	—	—	—			
		会計年度任用職員	18,899	—	—	—			
		特別職非常勤	0	—	—	—			
		附属機関委員	0	—	—	—			
		人件費計	86,217	—	—	—			
		物件費計	48,793	—	—	—	84,393	57.8%	
	歳出計		135,010	—	—	—			
	歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0		
		府支出金	46,927	—	—	—	46,575		
		受益者負担(使用料・手数料)	0	—	—	—	0		
		市債	0	—	—	—	0		
		その他	137,593	—	—	—	143,579		
	歳入計(物件費に充当される特定財源)		184,520	—	—	—	190,154		
	一般財源(物件費充当分のみ)		0	—	—	—	0		

(留意事項)
 ※正職員・再任用・任期付の
 人件費は、人員配置を
 もとに平均人件費を乗算
 しています。
 ※「歳入」欄には物件費に
 充当されるもののみ記載
 されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)					
年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 保険料未納者への督促状・催告書の発送	通	69,719 通	— 通	— 通	— 通
② 保険料過誤納金還付通知書の発送	通	4,850 通	— 通	— 通	— 通
③ 保険料口座振替の受付	件	3,976 件	— 件	— 件	— 件
④ 支払済通知書の発送	通	49,528 通	— 通	— 通	— 通
⑤ 滞納保険料について預貯金等の差押	件	1,544 件	— 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル	アウトプット①	説明	保険料の現年度徴収率が高水準で維持される。					
		指標	保険料(現年度賦課分)調定額に対する徴収済額の割合					
				R6	R7	R8	R9	単位
			目標	95.5	95.5	95.5	96	%
			実績	95.3	—	—	—	%
			算出方法	保険料徴収済額／保険料調定額×100				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

	アウトカム①	説明	—					
		指標	—					
				R6	R7	R8	R9	単位
			目標	—	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—	—
			算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)					
高水準の現年度収納率を維持することで、滞納繰越分が減少する。公平性がより確保され、保健事業の円滑な実施につながる。					

6. 取組実績に対する自己分析・総括					
R6年度	滞納対策として、催告書の送付や差押などの滞納処分を中心とした取り組みを行った。滞納者の財産調査は、回答速度の速い電子照会を活用することで効率的に行い、財産判明した場合は速やかに差押に繋げた。また、無財産と判明した場合は滞納処分の停止措置を行った。しかし保険料率の上昇の影響などから収納率は前年度を下回った。				
R7年度					
R8年度					
R9年度					

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)					
R7年度取組方針	引き続き財産調査と差押を強化する他、色付き封筒による督促状・催告書の送付を実施し、滞納処分に至る前の早期収納にも取り組む。また、滞納の未然防止策として、口座振替の勧奨や、キャッシュレス決済による支払方法の周知も図る。				R7年度方向性 現状維持

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—